

第5回京都府循環器病対策推進協議会の議事概要について

1 日 時

令和5年10月23日（月曜日）16時15分～17時30分

2 開催方法

京都府医師会館 会議室211（ハイブリッド開催）

3 協議会の概要

- 開会あいさつ
- 委員紹介
「委員名簿」にもとづき紹介
- 京都府循環器病対策推進計画の素案について
事務局から資料2～4・参考資料1により説明
各委員から計画素案について御意見を聴取
- ロジックモデルのうち健康寿命の目標設定の考え方について
事務局から追加資料により説明
各委員から御意見を聴取
- 脳卒中登録事業のデータ活用について
- 閉会あいさつ

4 各委員の主な意見

- ・心筋梗塞が疑われる場合の病院前12誘導心電図伝送システムについて、消防庁が推奨する通知を出しており府の取組についても今後検討が必要。
- ・小児患者が成人した時の移行先は、切実な問題であり、システムとして繋がる仕組みを構築してほしい。
- ・移行期医療センターの具体的な内容について説明があるとよい。
- ・長期フォローが可能なシステムや制度構築が必要
- ・tPAや血栓回収療法等、地域の医療機関の対応状況が消防分野に周知出来ていない。
- ・1次脳卒中センターとコアセンターの認定基準の説明があると搬送時の参考になる。
- ・京都府脳卒中登録事業については、新しい治療法に関する評価や3ヶ月後等の評価等も必要であり、改善が必要ではないか。
- ・心不全の急性増悪の対応や単独世帯の認知症やフレイルを伴った方の対応についての記載があるとよい。
- ・歯と口腔の健康の分野で、「口腔ケア」の記載については「口腔健康管理」に変更を。
- ・歯周病と循環器病の関連性についての説明があるとよい。

- ・薬のアドヒアランスについての記載があるとよい。
- ・予防の取組において、減塩のみに指導が偏ることのないよう記載に留意してほしい。
- ・行政としては、予防や詳しい知識の普及啓発の取組や介護予防におけるフレイルや歯周病の予防対策が重要。
- ・健康寿命は主観的なデータであり、客観的なデータの活用も検討されたい。